



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月4日

上場取引所 東

上場会社名 日本精鉱株式会社

コード番号 5729 URL <http://www.nihonseiko.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 木嶋 正憲

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 企画管理部長

(氏名) 渡邊 理史

TEL 03-3235-0021

四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	9,709	7.9	692	25.4	712	31.2	450	36.7
26年3月期第3四半期	8,996	△0.1	552	△0.4	542	1.5	329	△0.6

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 465百万円 (37.5%) 26年3月期第3四半期 338百万円 (2.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	36.88	—
26年3月期第3四半期	26.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	11,261	4,897	43.5
26年3月期	10,685	4,562	42.7

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 4,897百万円 26年3月期 4,562百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
27年3月期	—	5.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,800	6.2	840	25.0	850	30.0	530	33.8	43.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期3Q	13,029,500 株	26年3月期	13,029,500 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

27年3月期3Q	814,970 株	26年3月期	813,368 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	12,215,212 株	26年3月期3Q	12,217,604 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（以下「当第3四半期」という）におけるわが国経済は、政府による経済対策や金融政策などにより、企業業績や雇用の改善がみられ、緩やかな景気回復の動きが続いています。しかしながら、消費税率引き上げ後の消費マインドの弱さや、海外においては、新興国経済の減速や地政学的リスクの影響などもあり、景気の先行きについては、依然として不透明な状況にあります。

このような環境下、当社グループは国内外での販売強化に努め、アンチモン事業、金属粉末事業ともに、前年同期比で増収増益となりました。

その結果、当第3四半期の売上高は前年同期比713百万円増収（7.9%増収）の9,709百万円、営業利益は同140百万円増益（25.4%増益）の692百万円、経常利益は同169百万円増益（31.2%増益）の712百万円、四半期純利益は同120百万円増益（36.7%増益）の450百万円となりました。

セグメントごとの業況は次のとおりです。

[アンチモン事業]

同事業の原料であり、製品販売価格の基準ともなるアンチモン地金の国際相場は、横ばい基調から、7月中旬以降は緩やかな下げ基調に転じています。当第3四半期の平均はトン当たり9,332ドルで、前年同期の10,087ドルに比して7.5%ダウンとなりました。円建てでは0.7%のダウンとなりました。

同事業の販売状況につきましては、自動車部品や家電製品向け販売などが堅調であったことと中国法人での販売が寄与し、販売数量は、前年同期比532トン増加（12.0%増加）の4,973トンでありました。

その結果、同事業の当第3四半期の売上高は、販売数量の増加により、前年同期比278百万円増収（5.5%増収）の5,371百万円となりました。セグメント利益は、同73百万円増益（55.6%増益）の206百万円となりました。

[金属粉末事業]

電子部品向け金属粉につきましては、好調なスマートフォン関連需要に支えられました。自動車部品向けが主用途である粉末冶金向け金属粉につきましても、自動車部品向けに加え、情報機器及びVOA関連機器向け需要の復調により、好調に推移しました。

用途別の販売状況の実績につきましては、電子部品向け微粉末金属粉は、前年同期比50トン増加（9.6%増加）の571トン、粉末冶金向け金属粉は、同126トン増加（10.2%増加）の1,355トン、全体の販売数量は、同176トン増加（10.0%増加）の1,926トンでありました。

その結果、同事業の当第3四半期の売上高は前年同期比428百万円増収（11.0%増収）の4,321百万円となりました。セグメント利益は、同67百万円増益（17.1%増益）の459百万円となりました。

[その他]

当第3四半期不動産賃貸事業の売上高は16百万円（前年同期比56.2%増収）、セグメント利益は15百万円（前年同期比60.5%増益）でありました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は7,198百万円となり、前連結会計年度末と比べ812百万円増加いたしました。

これは主に受取手形及び売掛金が378百万円、原材料及び貯蔵品が489百万円増加したことによるものであります。

固定資産は4,061百万円となり前連結会計年度末と比べ235百万円減少いたしました。

これは主に有形固定資産が161百万円減少したこと及び投資その他の資産が77百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、11,261百万円となり、前連結会計年度末と比べ576百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は4,034百万円となり、前連結会計年度末と比べ409百万円増加いたしました。

これは主に支払手形及び買掛金が330百万円増加したことによるものであります。

固定負債は2,330百万円となり前連結会計年度末と比べ168百万円減少いたしました。

これは主に長期借入金の減少119百万円によるものであります。

この結果、負債合計は、6,364百万円となり、前連結会計年度末と比べ241百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は4,897百万円となり、前連結会計年度末と比べ335百万円増加いたしました。

これは主に利益剰余金が四半期純利益により450百万円増加したこと及び配当により122百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は43.5%（前連結会計年度末は42.7%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の業績予想につきましては、平成26年5月15日に公表いたしました平成27年3月期の通期業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（平成27年2月4日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結累計期間より、日錫精礦（上海）商貿有限公司は重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,465,032	2,379,926
受取手形及び売掛金	1,810,231	2,188,243
商品及び製品	1,208,028	1,212,424
仕掛品	185,574	212,605
原材料及び貯蔵品	642,561	1,131,995
その他	79,507	79,954
貸倒引当金	△5,775	△7,084
流動資産合計	6,385,160	7,198,064
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,267,774	1,206,929
機械装置及び運搬具(純額)	937,163	827,140
土地	1,478,590	1,478,590
その他(純額)	66,792	76,169
有形固定資産合計	3,750,321	3,588,829
無形固定資産	59,452	62,659
投資その他の資産	487,332	410,313
固定資産合計	4,297,106	4,061,802
繰延資産	3,016	1,883
資産合計	10,685,283	11,261,750

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,146,542	1,476,602
電子記録債務	—	181,766
短期借入金	1,841,900	1,790,200
未払法人税等	152,620	113,770
賞与引当金	89,114	38,566
その他	394,121	433,195
流動負債合計	3,624,298	4,034,101
固定負債		
社債	246,000	218,000
長期借入金	1,798,000	1,678,750
退職給付に係る負債	313,730	304,298
資産除去債務	34,826	35,110
その他	106,141	93,947
固定負債合計	2,498,698	2,330,106
負債合計	6,122,997	6,364,207
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,018,126	1,018,126
資本剰余金	564,725	564,725
利益剰余金	3,133,067	3,453,597
自己株式	△147,286	△147,812
株主資本合計	4,568,633	4,888,637
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△6,346	1,286
為替換算調整勘定	—	7,618
その他の包括利益累計額合計	△6,346	8,904
純資産合計	4,562,286	4,897,542
負債純資産合計	10,685,283	11,261,750

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	8,996,062	9,709,610
売上原価	7,800,211	8,347,355
売上総利益	1,195,851	1,362,254
販売費及び一般管理費	643,525	669,452
営業利益	552,326	692,801
営業外収益		
受取配当金	1,996	2,372
負ののれん償却額	787	—
為替差益	24,187	24,390
受取保険金	1,201	9,858
助成金収入	900	19,600
その他	6,790	4,794
営業外収益合計	35,862	61,016
営業外費用		
支払利息	30,323	29,718
その他	15,107	12,037
営業外費用合計	45,430	41,755
経常利益	542,758	712,062
特別利益		
固定資産売却益	—	241
特別利益合計	—	241
特別損失		
固定資産除却損	3,277	426
特別損失合計	3,277	426
税金等調整前四半期純利益	539,480	711,878
法人税、住民税及び事業税	200,287	242,728
法人税等調整額	9,643	18,673
法人税等合計	209,930	261,401
少数株主損益調整前四半期純利益	329,549	450,476
四半期純利益	329,549	450,476

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	329,549	450,476
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,100	7,633
為替換算調整勘定	—	7,618
その他の包括利益合計	9,100	15,251
四半期包括利益	338,649	465,727
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	338,649	465,727

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	アンチモン 事業	金属粉末 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	5,092,820	3,892,605	8,985,426	10,636	8,996,062	—	8,996,062
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	30,245	30,245	—	30,245	△30,245	—
計	5,092,820	3,922,850	9,015,671	10,636	9,026,308	△30,245	8,996,062
セグメント利益	132,605	392,628	525,234	9,953	535,187	17,138	552,326

(注) 1. 上記の報告セグメントに含めていない、不動産賃貸事業であります。

2. セグメント利益の調整額17,138千円はセグメント間取引の消去17,138千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	アンチモン 事業	金属粉末 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	5,371,456	4,321,534	9,692,990	16,619	9,709,610	—	9,709,610
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	31,522	31,522	—	31,522	△31,522	—
計	5,371,456	4,353,056	9,724,513	16,619	9,741,132	△31,522	9,709,610
セグメント利益	206,381	459,741	666,123	15,975	682,099	10,702	692,801

(注) 1. 上記の報告セグメントに含めていない、不動産賃貸事業であります。

2. セグメント利益の調整額10,702千円はセグメント間取引の消去10,702千円であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。